

科目名	精神看護学実習 I (精神看護実践実習) Psychiatric and Mental Health Nursing Practice
授業形態	実習(100%)
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	秋学期BC 応談
単位数	4単位
担当教員名	森 千鶴 Mori Chizuru 菅谷智一 Sugaya Tomokazu
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	4B棟502室 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること mori@md.tsukuba.ac.jp sugaya@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	1. 精神疾患患者の精神機能、身体状態、社会機能、生活能力、QOLの視点から包括的にアセスメントできる 2. 精神科診断、精神科臨床検査、精神科治療の実際を理解し、対象者に選択されている理由を述べるができる 3. 精神疾患患者に対する精神科治療の効果・影響をアセスメントできる 4. 精神疾患患者に対して、適切な精神療法を実施し評価できる 5. 精神疾患患者とその家族の人権擁護に必要な臨床判断を行い、精神保健医療福祉チームが適切な意思決定できるよう助言や指導をうけて調整できる 6. 精神疾患患者や家族に対して、諸理論の活用や研究により開発された援助プログラムを、実践に適用できる 7. 精神疾患患者とその家族を科学的根拠をもってアセスメント、援助を実践し、精神看護専門看護師の機能、役割に照らしながら評価ができる 8. 実践内容を自己評価するとともに、医療チームメンバーの意見や評価を取り入れた上で考察し、援助計画を修正し、実践に活かすことができる
他の授業科目との関連	精神看護専門看護師養成課程 専門科目
履修条件	精神看護専門看護師養成課程履修希望者に限る
授業概要	精神看護学の専門的知識に基づく看護実践及び科学的視点からの評価を行い、精神看護専門看護師としてケアとキュアを融合した高度な看護実践能力を習得する
キーワード	専門看護師の役割と機能、アセスメント、高度な実践能力
授業計画	1. 学生が自己の課題を明確にし、実習計画を立案する 2. 実習期間中に2名以上の対象者を受け持ち、精神機能、身体状態、社会機能、生活能力、QOLなどの視点から包括的にアセスメントし、援助計画を立案する 3. 受け持った対象者に為されている治療の目的、方法、影響などに対して医師とのディスカッションを通して理解する 4. 受け持った対象者や家族に対する援助計画を実践し、文献などを活用して科学的な視点から評価を行う 5. 医師の診断、治療場面(外来診療、薬物療法、精神療法、ECTなど)に陪席し、治療内容を理解する 6. 医師や精神看護専門看護師のスーパービジョンを受けながら、精神疾患患者に精神療法または心理教育を実践し、評価をする 7. 適宜、精神看護専門看護師、教員からスーパーバイズを受け、あるいは文献等を活用しながら実践の評価を行い、援助計画を修正する 8. 受け持った対象者の援助について、医療チームメンバーと連携、調整を行うためのディスカッションを行う 9. 実習目標の達成に向け、随時実習計画を修正する
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	実習100%(東京都立松沢病院、筑波大学附属病院他) 日々体験したことをまとめ、文献を活用して実習記録として、毎日実習指導担当の精神看護専門看護師並びに担当教員に提出する
成績評価方法	4/5以上の出席を以て単位取得の要件とする 評価基準は以下の通りとする A+ 受け持った対象者を包括的にアセスメントし、援助計画を立案し医療チームメンバーと計画を共有しながら、実践、評価ができる A 受け持った対象者を包括的にアセスメントし、援助計画を立案、実施、評価できるが、医療チームメンバーとの共有には至らない B 受け持った対象者を包括的にアセスメントし、援助計画は立案できるが実践評価が不十分である C 受け持った対象者を包括的にアセスメントできず、援助計画は立案したものの実践には至らない
教材・参考文献・配布資料等	特になし

その他(受講生にのぞむことや 受講上の注意点等)	専門看護師の看護実践に関する文献を熟読しておくこと
-----------------------------	---------------------------